

デジタルサラウンドヘッドホンシステム

リファレンスガイド

お買い上げいただき、ありがとうございます。

【警告】 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

このリファレンスガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いが示されています。リファレンスガイドおよびクイックスタートガイドをよく**お読みのうえ**、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MDR-HW700DS

【警告】 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的点検する

1年に一度は、ほごりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐに買い上げ店またはソニーの修理相談窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- 電源を切る
- ACアダプターをコンセントから抜く
- 買い上げ店またはソニーの修理相談窓口へ修理を依頼する

【危険】 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡や大けが**の原因となります。

付属以外のマイクロUSBケーブルを使わない

ヘッドホンを充電するときは、必ず付属のマイクロUSBケーブルを使用してください。

破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

指定以外のACアダプターを使わない

本機を使用するときは、必ず指定のACアダプターを使用してください。

破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

推奨以外のUSB ACアダプターを使わない

USB ACアダプターを用いて充電するときは、必ず推奨のAC-UD20（別売）を使用してください。

火の中に入れない

故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

火のそばや直射日光のあたる場所・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置・充電しない

【警告】 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけどや大けが**の原因となります。

道路交差点に従って安全運転する

運転者は道路交差点に従う義務があります。前方注意をおこなると、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転中は本機を使用しない。
- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所ではヘッドホンを使わないでください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ACアダプターをコンセントから抜いて、買い上げ店またはソニーの修理相談窓口にご相談ください。

この製品を海外で使用しない

ACアダプターは、日本国内専用です。

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。

【注意】 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

特に、CDやDMP機器など、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

通電中のACアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚が濡れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

かゆみなど違和感があつたら使わない

使用中、肌に合わないと感じたときは使用を中止して医師または買い上げ店、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。

長時間使用しないときはACアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。

お手入れの際、ACアダプターを抜く

ACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

本機は、国内専用です

海外では国によって電圧使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

【危険】 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーの修理相談窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

【警告】 充電式電池について

- 指定されたACアダプター以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけない。
- 液漏れした電池は使わない。

本機を廃棄する

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。

Li-ion 充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

商標について

- Virtualphones Technologyはソニー株式会社の商標または、登録商標です。
- 本機はドルビー®デジタルデコーダーおよびドルビープロロジック (II) 、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHDデコーダー、MPEG-2 AAC (LC) デコーダー、DTS® (DTS-ESおよびDTS 96/24) デコーダー、DTS-HDデコーダー、DTS NeoXデコーダーを搭載しています。
- 本機は、High-Definition Multimedia Interface (HDMI)® 技術を搭載しています。HDMI、HDMI ロゴ、及びHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- “ブラビアリンク” および “BRAVIA Link” ロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- “x.v.Color” および “x.v.Color” ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- “PlayStation” は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic、Surround EX、AACロゴ及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

* DTSの特許については、<http://patents.dts.com>をご参照ください。DTS Licensing Limitedからの実施権に基づき製造されています。DTS、DTS-HD、シンボリ、およびDTSとシンボルの組み合わせはDTS社の登録商標です。また、DTS NeoXはDTS社の商標です。©DTS, Inc. All Rights Reserved.

主な特長

9.1ch VPT (Virtualphones Technology) *1 による臨場感あるサラウンド

映画の基本構成である5.1chに、背後の音を表現するサラウンドバックと、高さ方向の表現を追加するフロントハイの4チャンネルを加え、9.1chサラウンド音場を再現。立体感がより高まり、大迫力のコンテンツを臨場感豊かに再生可能。

*1 VPT (Virtualphones Technology) : 映画館のような臨場感あふれるサラウンド音声を、ヘッドホンなどで手軽に楽しめるソニー独自のバーチャルサラウンド技術。

多彩なエフェクト(音場モード)

シネモード : ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント(SPE)の協力のもと、その音質で定評のある映画製作用ダビングシアターの測定データを解析し、ソニー独自のVPTとの組み合わせによる“理想的な映画館の音場”を再現。

ゲームモード : マルチチャンネルサラウンドのゲームを正確な方向感と共に再生可能。株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのサウンドデザイナー監修による正確な音場を実現。

ボイスモード : ニュース番組などに適した、人の声を聞き取りやすくする設定。

音声が途切れにくいデュアルバンド無線伝送方式

障害物の影響を受けにくい2.4 GHz帯と、電波干渉の少ない5 GHz帯の両方を使用した、デュアルバンド無線伝送方式を採用。他機器からの電波干渉を自動回避し、音を途切れにくくするリアルタイムチャンネルセレクション機能を搭載。非圧縮デジタル伝送により劣化のない音質を実現。

高音質で楽しめるHD音声フォーマット対応

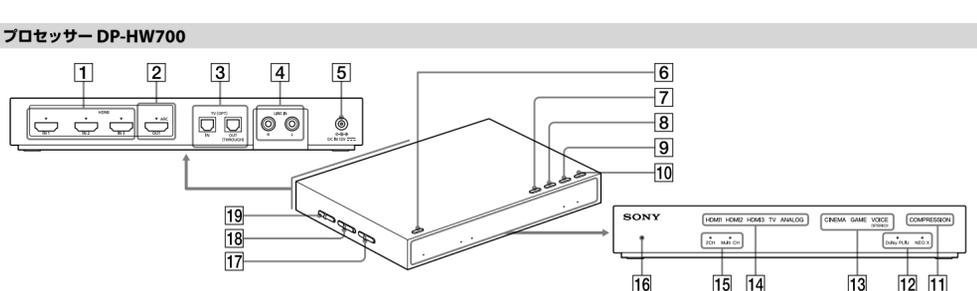
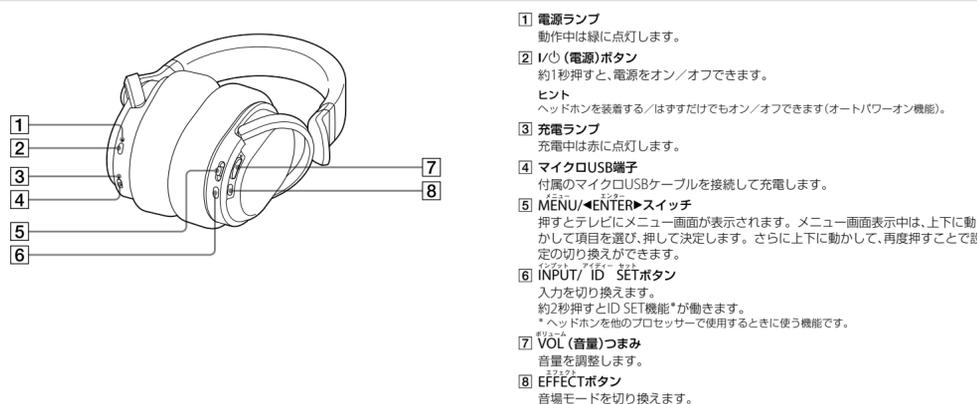
最大192 kHz、24 bit、非圧縮という、従来のDVDの約6倍以上の情報量を持つ高品位なソースにも対応。プロセッサーにHDMI入力を3系統装備し、ブルーレイディスクレコーダー/プレーヤー、ゲーム機、衛星放送チューナー、ケーブルテレビチューナー等、最大3つの機器と接続し、さまざまなコンテンツに対応。

HDMI接続対応

HDMI対応機器とHDMIケーブルで接続可能。光デジタル音声ケーブルを接続することなく、テレビ音声が楽しめるオーディオリターンチャンネル(ARC)にも対応**。また、あらかじめ接続されたHDMI機器の認証を済ませておく「FAST VIEW」(ファストビュー機能)を採用。入力切り換え時の待ち時間を短縮し、素早く各機器のコンテンツ視聴が可能。また、これまでの3D映像信号に加えて、4K映像にも対応。映像機器からの4K信号をパススルーし、4K対応のテレビやプロジェクターなどへそのまま信号を出力可能。

*2 ARC対応テレビとの接続が必要。

各部の名前と機能



- HDMI IN 1/IN 2/IN 3端子**
HDMI入力端子です。
- HDMI OUT端子**
HDMI出力端子です。ARC (オーディオリターンチャンネル)に対応しています。
- TV (OPT) IN/OUT (THROUGH)端子**
光デジタル音声入力/出力端子です。
- LINE IN (L/R)端子**
アナログ音声入力(L/R)端子です。
- 電源DC IN 12V端子**
付属のACアダプターとつなぎます。
- 1/0 (電源)ボタン(電源オン/スタンバイ/電源オフ)**
押すたびに電源オンとスタンバイが切り換わります。3秒以上押し続けると、電源が切れます(電源オフ)。
- INPUT/ID SETボタン**
入力を切り換えます。約2秒押すとID SET機能が動き、ヘッドホンを増設できます。

ヒント

別売の専用ワイヤレスヘッドホンMDR-HW700*を増設することで、最大4台まで同時に使用することができます。
*本システムは、独自のデジタル伝送方式を採用しているため、専用ワイヤレスヘッドホンMDR-HW700以外は使用できません。
- EFFECT/▼ボタン**
音場モードを切り換えます。メニュー画面表示時は項目を選びます。
- MATRIX/▲ボタン**
マトリクスデコーダー*を切り換えます。メニュー画面表示時は項目を選びます。
*本システムは、独自のデジタル伝送方式を採用しているため、入力音声信号を最大9.1チャンネルに拡張する機能です。詳しくはヘルプガイドをご覧ください。
- COMPRESSION/MENU/ENTERボタン**
ダイアミックスレンジの広さを切り換えます。約2秒押し続けるとメニュー画面が表示されます。メニュー画面表示時は選択した項目を選びます。
- COMPRESSIONランプ**
コンプレッションがオンのときに点灯します。
- MATRIXランプ**
選ばれているマトリクスデコーダーが点灯(もしくは点滅)します。
- EFFECTランプ**
選ばれている音場モードを表示します
- INPUTランプ**
選ばれている入力を表示します。
- 2CH Multi CHランプ**
入力信号のチャンネル構成(ステレオ/マルチ)に応じて点灯します。
- 電源ランプ**
電源を入れると緑に点灯、スタンバイ状態ではオレンジに点灯、電源が切れると消灯します。
- CONTROL FOR HDMIスイッチ**
つなぐ機器に合わせて切り換えます。

ご注意

プロセッサーの電源が入っている間は、CONTROL FOR HDMIスイッチの切り換えは反映されません。電源オフがスタンバイ状態にしてから切り換えてください。
- WIRELESS BANDスイッチ**
使用する周波数帯を切り換えます。AUTOを選ぶと最適な周波数帯を自動的に検出します(出荷時の設定)。

ご注意

屋外で使用する際は必ず2.4 GHz帯で使用してください。法令により、国内では5 GHz帯を屋外で使用することは禁止されています。
- A T T (LINE IN)スイッチ**
アナログ機器の音声の小さいときに「0dB」にします。

メニューから各種設定や状態表示を行う

テレビにメニュー画面を表示して、各種の設定をしたり、本機の状態を確認したりできます。ボタンの前の数字は「各部の名前と機能」のボタンの番号です。ボタンの位置については「各部の名前と機能」をご覧ください。

プロセッサーから操作するには

- テレビの入力切換を、プロセッサーが接続されている入力に切り換える。
- テレビにメニュー画面が表示されるまで、**[00] COMPRESSION/MENU/ENTER**ボタンを押し続ける。
- [9] MATRIX/▲**ボタンと**[8] EFFECT/▼**ボタンで項目を選び、**[00] COMPRESSION/MENU/ENTER**ボタンを押して決定する。
- [9] MATRIX/▲**ボタンと**[8] EFFECT/▼**ボタンで設定を選び、**[00] COMPRESSION/MENU/ENTER**ボタンを押して切り換える。

ヘッドホンから操作するには

- テレビの入力切換を、プロセッサーが接続されている入力に切り換える。
- ヘッドホンの電源が入った状態で、テレビにメニュー画面が表示されるまでヘッドホンの**[5] MENU/◀ENTER▶**スイッチを押す。
- [5] MENU/◀ENTER▶**スイッチを上下に動かして項目を選び、押して決定する。
- [5] MENU/◀ENTER▶**スイッチを上下に動かして設定を選び、押して切り換える。

メニュー画面

Menu	
Exit	メニュー画面を消す
Status:	状態(ステータス画面)の表示
Center Level:	センターチャンネルの音量レベル調整*1 0 ~ +8 dBの範囲で切り換え可能
LFE Level:	サブwooferチャンネルの音量レベル調整*1 -6 ~ +6 dBの範囲で切り換え可能
A/V Sync:	映像が音声より遅れている場合、音声を遅らせて映像と音声のずれを調整 0 ~ 300 msecの範囲で調整可能
Dual Mono:	二ヶ国語放送の主音声と副音声の出力方法の選択
TV+HP Audio Out:	テレビスピーカークとヘッドホンの同時音声出力の選択*2
Control for HDMI:	HDMI機器制御機能の選択
HDMI Pass Through:	HDMI/スルー機能の選択
Front Display Mode:	プロセッサーの前面表示方法の選択
Reset	設定のリセット

*1 音場モード設定がVOICEまたはOFFの場合は表示されません。
*2 [On]の場合には、テレビの音声出力設定を「テレビスピーカーク」にすると、同時に音声が出力されます。

ステータス画面

メニュー画面で「Status:」を選択すると、選択時の状態が表示されます。

Status		
Decode:	Dolby TrueHD	
Audio CH:	5.1ch	
Matrix:	Dolby PLIIz	
Input:	HDMI1	
Effect:	CINEMA	
Compression:	OFF	
Center Level:	0dB	
LFE Level:	0dB	
Wireless:	Auto(2.4GHz Band)	
Headphones:	Charge Level High	
	OK	

- メニュー画面、ステータス画面は、何も操作しない状態が約30秒続くと自動的に表示が消えます。
- メニューやステータスの詳しい内容はヘルプガイドをご覧ください。

- 電源ランプ**
動作中は緑に点灯します。
- 1/0 (電源)ボタン**
約1秒押すと、電源をオン/オフできます。

ヒント

ヘッドホンを装着する/はずすだけでもオン/オフできます(オートパワーオン機能)。
- 充電ランプ**
充電中は赤に点灯します。
- マイクoUSB端子**
付属のマイクロUSBケーブルを接続して充電します。
- MENU/◀ENTER▶スイッチ**
押すとテレビにメニュー画面が表示されます。メニュー画面表示中は、上下に動かして項目を選び、押して決定します。さらに上下に動かして、再度押すことで設定の切り換えができます。
- INPUT/ID SETボタン**
入力を切り換えます。約2秒押すとID SET機能*が働きます。
*ヘッドホンを他のプロセッサーで使用するときには切り換えます。
- VOL (音量)つまみ**
音量を調整します。
- EFFECTボタン**
音場モードを切り換えます。

